

発行：余市協会病院
 発行日：平成 28 年 8 月 1 日
 発行人：吉田 秀明
 編集人：広報委員会
 お問い合わせ：0135-23-3126



研修医リレーコラム85

「乳がん」

こんにちは、北海道大学病院研修医の寺井小百合と申します。この度は7月の1か月の間研修させていただきました。診療させていただいた患者さまをはじめ、病院スタッフの皆様、関わったすべての方にお世話になり、感謝申し上げます。最近某歌舞伎俳優の奥さまがかかっている話題になっていた乳がんについて書きたいと思いますので、お時間のある方は目を通していただけると嬉しいです。

そもそも乳がんって何？

おっぱいは「乳腺」と「脂肪」からできていますが、このうち「乳腺」から発生するのが乳がんです。女性だけの病気と思われがちですが、男性に起こる乳がんもあります。

乳がんってどうしてなるの？

乳がんになる原因はひとつではありません。乳がんにかかる危険因子としては、家族に乳がんにかかった人がいること、過去に線維腺腫などの良性の乳腺疾患にかかったことなどがあります。他にも年齢(40歳以上)、出産を経験していないこと、授乳をしていないこと、喫煙なども危険因子になります。

乳がんの検診はどんなことをするの？

早期発見には、自治体や職場が実施している乳がん検診を定期的に受けることが重要です。自治体を中心とした集団検診としては、40歳以上の女性は2年に1回、乳がん検診を受けることがすすめられています。乳がん検診(一次検診)では問診、視触診、マンモグラフィー検査、エコーを適宜組み合わせて行います。

視触診では医師がさわってわかる病気がないか調べます。マンモグラフィー検査は透明のプラスチック板で乳房をのばして、乳房専用のX線装置で撮影して小さな病気を発見します。エコーは超音波でマンモグラフィーでは見つけにくい病気をさがします。

一次検診で乳がんの可能性のある病変が見つかったところから細胞や組織を取ってきて顕微鏡で調べる精密検査を行います(二次検診)。

乳がんの治療はどんなものがあるの？

乳がんの治療には手術、抗がん剤、放射線治療の中からその患者さまの乳がんの種類や状態に合わせて、選択あるいは組み合わせて行います。手術は必ずおっぱい全部をとる必要がない場合もあり、病気が小さければおっぱいの一部をとる乳房温存術や、形成外科と協力して手術前のおっぱいになるべく近づける乳房再建術もあります。

乳がんは早期発見できれば、治せる可能性の高い病気です。検診に行くのは恥ずかしい、こわいと思っていられなくてもいいかもしれませんが、病院によっては女性の医師や技師が行っているところもありますので、一度は病院に足を運んで検診を受けていただきたいと思います。**北海道大学病院研修医 寺井 小百合**



マンモグラフィ

七夕飾り



7月7日～8月7日までの1か月間にわたり1階ロビーにて七夕飾りを展示しております。

短冊をご用意しておりますので奮って願い事を書いて下さいね！

病院祭い開催決定！



9月15日(木)18:00より1階ロビーにて病院祭りを開催いたします！

盆踊りや花火などを予定しています。詳細は次号にてお知らせいたしますので楽しみに！



当院の回復期リハビリテーション病棟では、平成28年6月1日より、土日・祝日も含め毎日休みなく365日リハビリテーションを提供しています。以前から、患者様から「休みが入ると体が動かなくなる」「毎日、リハビリをやってほしい」などの意見がありました。休日には来られないご家族様にリハビリで頑張っている姿を見てもらい、家での情報や現在の状況等の意見交換をしていただきます。リハビリテーション効果の維持につながり、日々元気になる姿を見ていただき喜んでいただいています。

365日リハビリテーションの実施



救急件数(7月)

外来受診272件 救急車来院84件
 うち入院47件 うち入院34件

facebook

公式アカウント
はじめました！